

附属学校園からのお知らせ

附属幼稚園便り



Ochanomizu University Library
創立当時の藤棚



Ochanomizu University Library
東京女子高等師範学校附属幼稚園絵はがき 藤棚の下で

創立 140 周年の節目の年に

今年は、幼稚園にとって、創立 140 周年の節目の年にあたります。11 月 26 日に予定されている創立記念の式典、祝賀会に向けて、140 年の歴史を振り返っているところです。

御茶ノ水（現在の湯島）に本学の前身・東京女子師範学校が開校した次の年、1876（明治 9）年に日本で最初の幼稚園として、本附属幼稚園は開園されました。関東大震災で御茶ノ水の園舎が焼失し、1932（昭和 7）年 12 月に本学とともに大塚に移転して、翌年から現園舎での生活を重ね、すでに 84 年の月日が経ちました。現園舎は、大学本館とともに、2008（平成 20）年、登録有形文化財として登録され、2014（平成 26）年には、移転当時の趣に復元する大規模復元改修工事が行われました。

移転当時主事（園長）を務められていた倉橋惣三先生の「大銀杏と藤棚」という文章に、引越してきた時の思いが書き留められています。

「大塚に本建築ができて移ってから、彼（倉橋自身のこと）は庭に意を用いたが、その間、何よりも彼の心を満たしたものは、丘の上の大銀杏を囲いの中に取り入れたことと、お茶の水の焼け跡に思いがけず新芽を出した藤を移し来って棚につくったことである。大銀杏と藤棚とは、お茶の水幼稚園の二つの大切な自然の魂である。」

140 周年の歴史を振り返るために、古い写真・資料を整理する中で、御茶ノ

水に幼稚園があった時の藤棚の写真、この園舎に移ってきた当時の藤棚の写真も出てきました。

現在の園庭にある藤は、本園にとって、深い歴史的な意味をもつ大事な藤なのです。

昨年 9 月より、①園舎の維持管理 ②園庭改修、樹木の維持管理などを掲げ、関係者の皆さまから「創立 140 周年記念募金」を募ってきました。その貴重なご芳志をつかわせていただいて、この大事な藤の手入れをすすめてきました。

2 月、老木となり大分弱っているように見受けられる藤を、著名な樹木医である塚本こなみさんに診断していただきました。「藤は、皮一枚になっても生き続ける生命力の強い木なので大丈夫です」とおっしゃって、伸び放題に伸び、複雑に絡まった蔓を迷うことなく剪定されました。「今年は、花を期待しないでくださいね」ということでしたが、今年の春、残された枝先に全て花芽がついて、数は少なくとも見事な花が咲きました。

塚本さんのご助言もあり、この夏休みに藤棚を拡張する大掛かりな工事をおこないました。広がる枝や蔓の下に太い木の棒を井桁に組んで、井桁ごとク



藤の剪定 2 月



クレーンでつり上げられている藤棚



新しい藤棚

附属学校園での出来事 (2016年7月～9月)

【いづみナーサリー】

7月

- 七夕
- 避難訓練(室内・地震)
- すいかわり

8月

- 避難訓練(不審者対応)
- 夏野菜収穫・調理
- 森のプール開設

【附属幼稚園】

7月

- 5歳児遠足
- 誕生会
- 第1学期終業式
- 5歳児有志親子 チャボ・畑の世話
- 夜の附属幼稚園でセミの羽化を観察する会

8月

- ライフ×アート展参加

9月

- 第2学期始業式
- 生きもの博物館
- 避難訓練・引き取り訓練
- 学級懇談会
- PTA主催講演会

【附属小学校】

7月

- 保護者会
- 情報モラル講習会(5・6年、保護者)
- 芝生補植(5・6年、保護者ボランティア)
- 防犯教室、起震車体験、煙体験
- 終業式

8月

- 登校日(4・5・6年)
- 林間学校(5・6年)

9月

- 始業式
- 不審者対応訓練
- 保護者会
- たてわり給食
- 開校138周年
- 栄養教育実習
- 通学班別会

9月

- 引き取り訓練
- お月見あそび

【附属中学校】

7月

- 第2回学カテスト(3年)
- 保護者会
- お茶の子バザー
- 志賀高原林間学校(2年)
- 夏休み開始

8月

- 夏休み終了

9月

- 第3回学カテスト(3年)
- 郊外園(2年)
- 保護者参観日
- 生徒祭

【附属高校】

7月

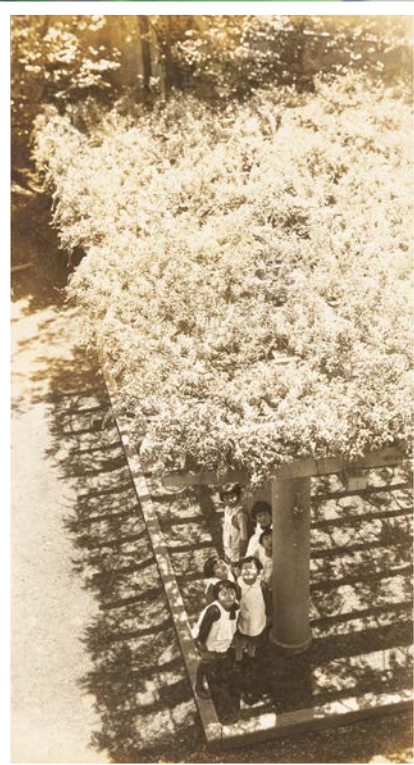
- SNSについての研修(1・2年)
- 農場実習(ジャガイモの収穫:2年)
- ジャパンソサエティよりジュニアフェロー受入れ
- 学カテスト(1・2年)
- 保護者会(1~3年)
- お茶大日本語サマープログラムの留学生 箏曲・茶道体験
- お茶大英語サマープログラム(1・2年生30名)
- 終業式
- Global Link Singapore(3年生4名)

8月

- 東工大サマーチャレンジ(3年生9名)
- イオン アジアユースリーダーズ(2年生5名)
- スーパーカミオカンデ & iPS細胞研究所見学(3年生22名)
- 理数1日体験授業(中学生対象)
- 学カテスト(3年)

9月

- 始業式
- 第II期教育実習
- ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム(2年)
- 文化祭
- 第2回学校説明会
- 進路講演会(2年)



昭和10年新園舎藤棚

レーンでつり上げ、周りの木からロープで引っ張って、つり上げた状態で固定するという作業に丸一日かかりました。午後からは台風の影響で風も強まり、難航する作業の中で、藤の悲鳴が聞こえたような気がしました。新しく広がった棚に無事降ろされたのは、それから数日後でした。長い時間、無理な体勢を強いられていた藤がどうなるか心配されましたが、拡張された棚にすぐに勢いよく枝葉を伸ばしていきました。歴代の卒業生や関係者のみなさまのお志を、このような形で活かせたことを心よりうれしく思っています。

震災、戦争の惨禍をもくぐりぬけ、遅しく生き続けてきた藤は、これからも、この幼稚園の自然の魂として、幼稚園の歴史をずっと見守り続けてくれることでしょう。藤に負けないように、この先10年、20年をみすえて、140年の保育の歴史の中で本園が守り続けてきた子どもを中心にいた保育の歩みを力強く着実に進めていこうと、思いを新たにしています。



新しい藤棚：下から見上げる

附属学校園からのお知らせ